Creative Enzymes®

ネイティブポテト酸ホスファターゼ

Cat. No. NATE-0083

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	植物のホスファターゼ活性と酵素プロセスに関する研究のためのネイティブポテト酸ホスファターゼ。農業および生化学研究に最適です。Creative Enzymesは高品質なソリューションを提供します。
用途	ジャガイモからの酸性ホスファターゼは、ポリプレニルピロリン酸塩の効率的な酵素的加水分解法を開発するための研究に使用されました。また、ナトリウムp-ニトロフェニルリン酸塩および他のリン酸モノエステルの加水分解の動力学を調□する研究にも使用されました。
別名	酸ホスファターゼ; 9001-77-8; 酸ホスホモノエステラーゼ; ホスホモノエステラーゼ; グリセロホスファターゼ; 酸モノホスファターゼ; 酸ホスホヒドロラーゼ; 酸ホスホモノエステルヒドロラーゼ; ユテロフェリン; 酸ヌクレオシド二リン酸ホスファターゼ; オルトホスホリック-モノエステルホスホヒドロラーゼ (酸最適); EC 3.1.3.2; APase

製品情報

由来	ポテト
形態	タイプI、タイプIV、硫酸アンモニウム懸濁液；1.8 M (NH4)2SO4、10 mM MgCl2、pH 5.5の懸濁液；タイプII、タイプIII、凍結乾燥粉末。
EC番号	EC 3.1.3.2
CAS登□番号	9001-77-8
活性	タイプI、> 200単位/mgタンパク質（ビウレット）；タイプII、0.5-3.0単位/mg固体；タイプIII、3.0-10.0単位/mg固体；タイプIV、> 10.0単位/mgタンパク質（修正ワールブルグ-クリスチャン）。
単位定義	1ユニットは、37°CでpH 4.8の条件下で1分あたり1.0μモルのp-ニトロフェニルリン酸を加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	2-8°C